

大地震に備える

知っておく・備えておく・
命を守るために今できること

問合せ 危機管理課（内線2213）

大地震はいつ起こるか分かりません。鴻巣市では、最大震度 7 の地震も想定されています。
もしものときに落ち着いて行動できるよう、鴻巣市で想定される地震と日頃からできる備え
について確認しておきましょう。

鴻巣市に影響のある地震とその被害想定

東京湾北部地震

凡例

- 震度 3
- 震度 4
- 震度 5 弱
- 震度 5 強
- 震度 6 弱
- 震度 6 強
- 震度 7



鴻巣市内の
最大震度

5 強

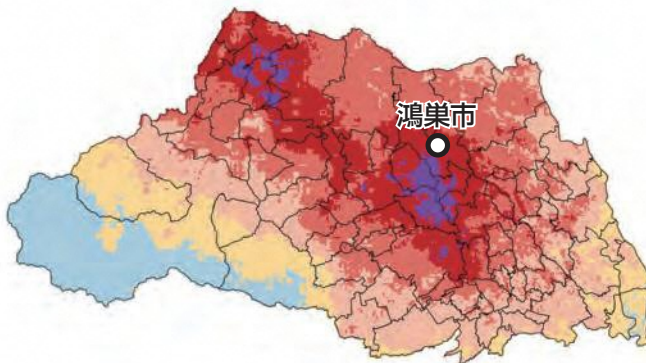
【被害想定（埼玉県内）】

建物全壊：約 1 万 3,400 棟
死者：約 590 人
重傷者：約 800 人
要救助者数：約 3,200 人

関東平野北西縁断層帯地震

凡例

- 震度 3
- 震度 4
- 震度 5 弱
- 震度 5 強
- 震度 6 弱
- 震度 6 強
- 震度 7



鴻巣市内の
最大震度

7

【被害想定（埼玉県内）】

建物全壊：約 5 万 5,000 棟
死者：約 3,550 人
重傷者：約 4,500 人
要救助者数：約 1 万 2,500 人

出典：埼玉県地震被害想定調査報告書



あなたの家庭は大丈夫？ 我が家の防災チェック

- ☐ 飲料水や食料を備蓄している
- ☐ 家具の転倒防止対策をしている
- ☐ LED ランタンやモバイルバッテリーがある
- ☐ 家族の集合場所を決めている
- ☐ 災害時の情報収集方法を確認している



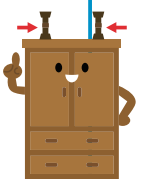
今できる備え！

「家具転倒防止対策」を行いましょ

地震によるけがの約30～50%が
家具類の転倒・落下・移動によるものです

家具転倒防止器具等の購入・取り付け費用の
2分の1（上限5,000円）を補助します

補助対象や申請方法等の詳細は市 HP をご確認ください



災害時も市民のくらしを守るために — 鴻巣市の業務継続計画（BCP） —

鴻巣市では、大規模地震などの災害が発生した際でも、市民の皆さんの生命や財産を守り、必要な行政サービスを継続して提供できるよう鴻巣市業務継続計画（BCP）を策定しています。

災害時には、市役所や公共施設、職員自身も被災することが想定されます。そのような状況でも、避難所の運営や情報発信、救援活動などの「非常時優先業務」を確実に実施するとともに、市民生活に欠かせない行政サービスの早期再開を目指します。

この計画では、平常時からの備えや災害発生後の対応、訓練・点検による継続的な見直しなどを通じて、災害に強い行政運営の実現に取り組んでいます。

詳細は市HP



災害が起きても
市民のために
できることを
止めない



BCP の主な内容

市民の命を守る業務を最優先

災害発生時は、避難所の開設・運営、救助・救護活動、情報発信など、市民の生命と安全を守るための業務を最優先で実施します



必要な行政サービスを継続

戸籍や住民票の発行、給水活動、福祉サービスなど、市民生活に欠かせない行政サービスを継続し、早期の復旧を目指します



人員・物資・設備を確保

職員の参集体制を整えるとともに、非常用電源や備蓄物資、情報システムなどを確保し、災害時の業務継続に備えます



訓練・点検による継続的な改善

平常時から研修や訓練を実施し、計画の点検・見直しを継続することで、災害対応力の向上を図ります



災害時の情報収集手段

— 正しい情報を複数の手段で確認しましょう —

災害時は、情報を“取りに行く”だけでなく、“受け取れる”状態にしておくことも大切です。市公式LINE・Xや防災行政無線メールサービスをあらかじめ登録しておきましょう。



今のうちに登録！

災害ポータルサイト(市HP)

市の最新情報をまとめて確認

避難情報や避難所の開設状況など、市内の災害情報が確認できます



市公式LINE・X

スマホでいち早く情報を受け取る

市からのお知らせを配信しています。友だち追加・フォローして情報を確認しましょう



防災行政無線メールサービス

放送内容をメールで受信

防災行政無線で放送した内容をメールで受信できます



Yahoo! 防災速報アプリ

アプリ内で鴻巣市を登録すると、災害情報を受け取れます



バカン マップス VACAN Maps

スマホなどから避難所の開設状況や混雑状況を確認できます



東京電力TEPCO速報アプリ

停電・雨雲・雷・地震情報などを通知する防災アプリです

